

宮 池 あきら みやいけ 明 レポート



3月定例会 代表質問より

奈良市議会3月定例会では、公明党奈良市議会議員団を代表して質問いたしました。その代表質問より、子ども・若者をテーマにした内容について報告させていただきます。

「児童虐待防止について」

奈良市の児童虐待の現状
児童虐待は、①身体的虐待②性的虐待③ネグレクト（閉じ込める、食事を与えないなど）④心理的虐待（言葉による脅し、無視など）を指す。
奈良市の児童虐待相談件数の推移は、平成24年度425件、平成25年度454件、平成26年度549件と年々増加。現在集計中の平成27年度についても、前年度を上回る状況。

子どもたちが健やかに育っていただくことは、我が国や地域の発展にもかかわります。しかし、現実には、子どもを守れない家庭があることも事実。そこで、児童虐待の発生を予防し、妊娠から子育て期までの切れ目ない支援を実現し、孤立しがちな子育て家庭へのアウトリーチ（訪問寄り添い型）支援などの強化が求められることから質問。

質問：奈良市の児童虐待防止対策について、平成28年度の取り組みについてはどうか？

答弁：奈良市の児童虐待相談件数の状況は、平成27年4月から平成28年1月までの10か月間で485件。既に昨年度の同時期の相談件数を上回っている。対応として、児童虐待の発生予防や早期発見、迅速な対応の強化を図るため、平成27年度から担当課に、保健師・社会福祉士・臨床心理士等の専門職の配置や職員員の増員などの体制強化を図り、また、教育委員会、市役所内関係部署の担当者による

ワーキングチームを編成、児童虐待対応マニュアル及び児童虐待防止行動計画の策定にも取り組んでいる。平成28年度は、乳幼児期の保護者を対象に、育児に対する不安感の解消や子育ての孤立化を防ぐため、家庭訪問などにより保護者が気軽に安心して相談できる体制の充実を図る。



「子ども・若者の支援ネットワーク構築について」

社会の変化の影響を受けやすい「子ども・若者」に時代の変化とともに新たな課題が次々と起こってくることから、これらに迅速かつ的確な対応が求められる。しかし従来の個別分野における縦割りの対応では限界。

そこで、社会生活を円滑に営む上で、困難を有する「子ども・若者」を横断的に地域で支援するためのネットワークづくりが求められる。平成28年度予算で「子ども・若者計画策定に向けた実態調査」の経費が計上されていることから、この実態調査の内容と、支援ネットワーク構築について教育長と市長へ質問。

教育長答弁：実態調査については、中学校卒業後、無就学や無職の状態にある若者の実態把握を行うもの。その調査結果をもとに、関係課が連携し、子どもの健やかな成長と若者の社会的自立が図られる支援につないで参る。

市長答弁：新年度に予定している「子ども・若者計画策定に向けた実態調査」の結果を踏まえ、教育委員会を含む市役所との関係課が連携のもと分析を行うとともに実態調査と体制構築を進め若者の「ひきこもり」やいわゆる「ニート」への対応を検討し、効果的かつ適切な対応して参る。

みやいけ明 レポート

「新斎苑（火葬場）建設計画について」

奈良市議会 3 月定例会は、新斎苑建設計画が争点となり、新聞やテレビでも大きく取り上げられ、多くの市民の皆様にご存知のこととなりました。

それは、新斎苑建設計画推進の予算を削減する「平成 28 年度一般会計予算案の一部修正案」が可決されたことにより、市長が審議のやり直しを求めました。

しかし、最終的に一部修正予算が成立しました。

特に問題になった新斎苑建設関連予算 7,700 万円のうち、平成 27 年度予算で決定した環境影響評価事業予算 2,900 万円は残し、事業説明会会場使用料・地元自治会等先進地視察・不動産鑑定業務・アドバイザー業務委託・アクセス道路橋梁予備設計等業務委託・事務用消耗品等の予算が削減。また、河瀬直美監督が携わる「なら国際映画祭」関連予算なども削減。

私たち公明党奈良市議会議員団は、現在の火葬場は対応能力が低く、度々、火葬に待ち時間が起こるため、冷蔵設備を設置していることから多くの市民にご迷惑をおかけしています。

長年の課題である新斎苑建設については早期に建設しなければならないと考えます。それも平成 32 年度末までに竣工できなければ、国の補助が受けられず、約 22 億円の市民負担が増し、

また、奈良市の死亡者数予測から平成 32 年度だけでも 1,600 人以上のご遺体を奈良市外で火葬に付さなければならない事態が予想されます。

地域住民が抱えている土砂災害等に対する不安要因について、奈良市が地質調査を委託実施し報告書が提出されています。私たちは今回出された地質調査報告書について、地質調査会社の担当者（工学博士・フェロー）に直接説明を求め、理解を深められたため原案に賛成しました。

奈良市へは、住民の皆様に対し懇切丁寧な説明をするとともに、全市民への説明もしっかり果たすことが行政の役割であると強く要望しています。

地域住民に賛成反対の両方の意見があります。どちらかの結論が出ていない以上、地域住民の合意形成を図ることが、今行うべき取り組みと考えています。しかし、地元住民や市民への説明に対する予算が削減されたことで、コピー一枚取れない状態です。

6 月定例会に向けて、奈良市がどれだけの取り組みを進められるかが次の争点となります。



外観図

地域の安全対策が進みました！

→ (大安寺5丁目付近)



→ (佐保川小学校付近)



『地域の方より、ガードレールと安全策の設置について、ご相談を受け、自治会のご理解をいただいた上、市により設置された地域の安全対策が進みました』

◀ 発行者:奈良市議会議員 宮池明 ▶

e-mail: miyaikej@yaho.co.jp web site: <http://www.komei.or.jp/km/nara-miyaike-akira/>

◀ 公明党奈良市議会議員団控室 ▶ 奈良市二条大路南1丁目1番1号 TEL:0742-34-4789 FAX:0742-34-49

